

施策目標に関する中長期的な達成目標と指標(平成25年度に実施する施策)

政策目標7 科学技術・学術政策の総合的な推進

| 施策目標(テーマ) | 達成目標 | 主な成果指標(アウトカム)／活動指標(アウトプット) |
|---|---|---|
| <p>1 科学技術関係人材の育成及び科学技術に関する国民意識の醸成</p> | <p>1 次世代を担う科学技術関係人材の育成に向け、子どもが科学技術に親しみ学ぶことができる環境が充実するとともに、理数に興味関心の高い子どもの能力を伸ばすことができる効果的な環境を提供するとともに、科学技術に関する基礎的な知識・能力の向上に資するため、国民が科学技術に触れる機会を増やす。</p> | <p>【アウトカム】</p> <p>① 科学技術分野のコンテスト表彰件数のSSH指定前と比べた比率(%) (23年度実績:492%/目標:27年度500%以上)</p> <p>② SSH出身の理系学部専攻の卒業生が「SSH参加が現在の専攻分野選択に影響した」と回答した割合(%) (24年度実績:66%/目標27年度60%以上)</p> <p>③ 全国学力・学習状況調査の結果 前年度に理科室で観察や実験をする授業を1クラス当たり「週1回以上行った」と回答した学校の割合(%) (24年度実績:小:56.1%;中:55.5%/目標:前回調査以上)</p> <p>④ サイエンス・インカレに応募する学生数(人) (24年度実績:367人/目標:27年度・400人以上)</p> <p>⑤ 科学技術週間標語の応募件数(件) (24年度実績:10,571件/目標:27年度・前年度対比増)</p> |
| <p>【担当課(関係課)】 科学技術・学術政策局 人材政策課 (初等中等教育局教育課程課)</p> | <p>2 若手研究者等の多様な人材の育成支援を図るため、若手研究者等が能力を最大限発揮できる環境を整備される。</p> | <p>【アウトカム】</p> <p>① 自然科学系における若手新規採用教員総数に占めるテニュアトラック教員の割合(%) (24年度実績:6.7%/目標:27年度・30%)</p> <p>② 大学の自然科学系における女性研究者の採用割合(%) (21年度実績:24.2%/目標:27年度・30%)</p> <p>③ 大学等におけるリサーチ・アドミニストレーター組織の整備状況 (23年度実績:5機関/目標:27年度・50機関)</p> <p>【アウトプット】 技術士登録者数 (24年度実績:77,394名/目標:27年度・88,000名)</p> |
| <p>【施策の概要】 天然資源に乏しい我が国にとって、科学技術と人材こそが唯一の資源である。未来を創る若手研究者等の支援の強化を図るため、自立的な研究環境の整備、若手研究者等が能力を発揮できる環境整備を支援するとともに、理数分野において優れた素質を持つ児童生徒を発掘して、その能力を伸ばすための取組を推進する。また、科学技術の社会的信頼を得るために、広く国民を対象として、科学技術に触れ、体験・学習できる機会の拡充を図る。</p> | | |

達成手段

| 達成手段 (事業・税制措置・諸会議等) | 23年度 補正後 予算額 (千円) | 24年度 補正後 予算額 (千円) | 25年度 当初予 算額 (千円) | 達成手段の概要 | 行政事業 レビュー シート 番号 | 関連する 指標 | 担当課 |
|--------------------------------|---|----------------------------|---------------------------|---|---------------------------|-------------------------------|----------------------|
| スーパーサイエンスハイスクール | 1,455 | 4,632 | 3,751 | 将来の国際的な科学技術関係人材を育成するため、学習指導要領によらないカリキュラムの開発・実践や課題研究の推進、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習等など、先進的な理数系教育を実施する高等学校を「スーパーサイエンスハイスクール」として指定し、支援するため、スーパーサイエンスハイスクール企画評価会議や中間評価等を実施。 | 0182 | 1-①~ ② | 科・人材政策課 (初・教育課程課) |
| 理数教育充実のための総合的な支援 | 1,490.8 89 | 11,000. 957 | 3,356.4 08 | 観察・実験活動の充実をはじめとする理数教育の充実を図った新学習指導要領をより一層定着させていくため、理科・算数・数学の指導に関する環境整備、理科教育設備整備の支援、観察実験アシスタント配置の支援、教員の指導力向上の推進などの観点から、総合的に支援する。 | 0183 | 1-③ | 初・教育課程課 |
| リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備 | 30,000 ※23年度においては 施策目標9-2の予算として計上 | 1,141.3 35 | 1,062.0 46 | 大学等において、研究資金の調達・管理、知財の管理・活用等を総合的にマネジメントできる研究開発に知見のある人材を育成・確保する全国的なシステムを整備するとともに、専門性の高い職種として定着を図る。 | 0181 | 2-③ | 科・産業連携・地域支援課 |
| 科学技術分野の文部科学大臣表彰 | 25,085 | 25,085 | 25,085 | 科学技術分野の文部科学大臣表彰についての審査・選考を行い、表彰を行う。 | 0184 | 2 | 振・振興企画課 |
| 科学技術に関する人材の養成・活躍促進及び理解増進 | 12,641. 537 | 12,966. 502 | 10,337. 757 | 未来を創る若手研究者等の支援の強化を図るため、自立的な研究環境の整備、若手研究者等が能力を発揮できる環境整備を支援するとともに、理数分野において優れた素質を持つ児童生徒を発掘して、その能力を伸ばすための取組を推進する。また、科学技術の社会的信頼を得るために、広く国民を対象として、科学技術に触れ、体験・学習できる機会の拡充を図る。 | 0181 | 1-③~ ④ 2-①~ ② 3-① | 科・人材政策課 |

(参考)関連する独立行政法人の事業

| 事業 | 23年度 補正後 予算額 (千円) | 24年度 補正後 予算額 (千円) | 25年度 当初予 算額 (千円) | 達成手段の概要 | 行政事業 レビュー シート 番号 | 関連する 指標 | 担当課 |
|------------------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|---|---------------------------|--|------------------------------|
| 独立行政法人科学技術 振興機構運営費交付金 に必要な経費 | 8,425.6 96 | 8,409.1 69 | 7,650.5 68 | 子どもが科学技術に親しみ、学ぶことができる環境や科学技術に才能を有する子どもを見出し 伸ばすことができる環境を提供するため、スーパーサイエンスハイスクール支援事業など理数 教育の充実を図るとともに、科学技術コミュニケーションフィールドの運営等により、大人まで皆 が科学技術に触れ、体験・学習できる機会を充実する。 | 0185 | 科学技術 関係人材 の育成及 び科学技 術に関す る国民意 識の醸成 | 科・人材 政策課 (初・教育 課程課) |
| 独立行政法人科学技術 振興機構施設整備に必 要な経費 | 141,999 | 111,851 | 98,169 | JSTに対して、JST本部、外国人研究者宿舎・日本科学未来館の施設・設備について、老朽化 等により性能を維持できなくなったものの改修等に係る経費を補助する。 | 0186 | 科学技術 関係人材 の育成及 び科学技 術に関す る国民意 識の醸成 | 科・人材 政策課 |
| 独立行政法人日本学術 振興会運営費交付金に 必要な経費 | 18,004. 217 | 18,055. 697 | 18,192. 758 | 優秀な若手研究者が、主体的に研究に専念できるよう研究奨励金を給付する。 | 0187 | 科学技術 関係人材 の育成及 び科学技 術に関す る国民意 識の醸成 | 科・人材 政策課 (振・振興 企画課) |